



THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2007年12月 No.307

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2007~2008)	
センテニアルクラブ会長	『明日は明日の風が吹く』
国際会長	『国境なき奉仕』
アジア会長	『国境なき奉仕』
西日本区理事	『確信を持って前進しよう!』
中西部部長	『Y's運動の源流を求めて!』

クラブ役員	Officers
会長	: 三浦 直之
副会長	: 坂本 哲朗
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 中村 幸枝
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of December

羊飼たちは、見聞きしたことが何もかも自分たちに語られたとおりであったので、神をあがめ、またさんびしながら帰っていった。

(ルカによる福音書 2章 20節)

December Club Meeting 『EMC-M』

12月第1例会

(クリスマス例会)

日時: 2007年12月19日(水) 18:30~20:30

場所: リーガグランドホテル 3階 葵の間

司会: 隅田 恵子君

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 開会点鐘 | 三浦 直之会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. ゲスト紹介 | 三浦 直之会長 |
| 4. 聖句朗読 | 谷川 有美子君 |
| 5. 今月の強調活動 | 坂本 哲朗君 |
| 6. 晩餐 | 一同 |
| 7. クリスマスコンサート | 末松よしみつ氏 |
| 音楽&トーク | |
| 8. プレゼント交換 | 大村 肇君 |
| 9. インフォメーション | |
| 10. お誕生祝い・ニコニコ献金 | |
| 11. 閉会点鐘 | 三浦 直之会長 |

*参加費は一律4,000円。プレゼント交換をするので、一人1,000円程度の品をご用意ください。

12月第2例会

日時: 2007年12月12日(水) 18:30~20:30

場所: 大阪YMCA土佐堀会館4階

12月お誕生日: 中村隆メン(26日)

例会担当: 3班: 石津、松浦、谷川、中村隆、隅田、山村君

クリスマスの時期に思うこと

石津 雅人

12月2日に行われたアジア野球選手権の日本対韓国の試合は1点差で日本が勝ちましたが、緊張感の中の真剣勝負、迫力のある野球でした。それぞれの国民は自国のチームを応援していたことでしょうか。これは愛国心の表れでしょうか。フリー百科事典「ウィキペディア」によると「愛国心」とは「社会共同体としての『国』に対する愛着は『愛郷心』と言い換えることが出来る。政治共同体としての『国』に対する愛着は『忠誠心』と言い換えることが出来る。」とありました。

今の世の中自分の一人のことで精一杯、他人の事など顧みている余裕がないという世の中なのですが、心を愛で満たせるように祈り求め、奉仕を行い、人の中に長所を見つけようとするとき、慈愛の精神が育まれるのではないのでしょうか。他人のことに関わりをもって生きようとする、それこそが実は、愛するという事ではないのでしょうか。子々孫々が平和の中で愛国心(=愛郷心)を持ち、隣人愛を育んで行くことのできる世の中であってほしいものです。

【クラブ統計 Statistics】

2007年11月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	12名	6名	11月: 95g	11月: 28,300円 (07年7月から): 92,114円
例会出席 12名	メネット	5名	0名	現金 1,000円	
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	(07年7月から~11月の	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	累計)切手 250g	
出席率 71%	合 計	17名	6名	現金 3,000円	

11月第2例会報告

イスラエルの地で、夜、野宿していた羊飼いたちに、主のみ使いが現れて、キリストの誕生を知らされます。最初にイエスの誕生を知ったのが、羊飼いたちだったということは、イエスの生涯とのかかわりを思うとき、その出会いの意味深いことを感じさせられます。クリスマスおめでとうございます。

聖句選・コメント：谷川 有美子

11月第1例会報告

と き：07年11月21日(水) 18:30~20:30
と ころ：リーガグランドホテル3階葵の間

今回のメインスピーカーは大村肇さん。これまでの生い立ちを私の履歴書にまとめ、準備万端で臨まれました。関西学院中学部に入学した大村さんがまず影響を受けたのは授業前に生徒と一緒に4^5キロのランニングをする教師。大村さんはとにかく走るのが速く、高等部時代県大会で4百位3位の成績を上げたこともあったそうです。大学時代は、アサヒキャンプ活動に専念し、そこで伴侶もめでたく見つけました。なんとといっても二人の共同作業の卒論、「アサヒキャンプ活動」が同じ内容であったことが、こともあろうに結婚披露宴でたまたま同席した大学の違う二人のゼミの先生の雑談で発覚というもけっさくです。今や、ライフワークの九谷色絵陶額も以前化学メーカーに勤務していたことが体験の裏づけとなり、なかなかの博識で、話も興味深いものでした。

また、これまで手がけた作品も披露。玄人はだしの腕前は「すばらしい」の一言に尽きました。ぜひ、ファンづくりという声も上がったのも当然。今夏、何人かで制作を体験する機会があったが、今後もそのような機会をぜひ作りたいものです。

あまり時間がなかったが、「EMC フリートーク」では坂本哲朗氏が一言。「ハワイとの交流などをもっとアピール」するなど国際的な活動を取り上げ、若い人の獲得を図ってはどうかという話も。

また、藤原正巳氏からは、ハワイのウエストオアフクラブの来日、交流報告を。また、松浦さんからは、ミャンマーのマンダレー総主事からの献金のお礼報告がありました。戒厳令が敷かれるなか、我々が献金した5万円は子どもの活動に有効活用されているとのことです。

(中村茂高)



陶板下絵

陶板作品



と き：07年11月28日(水) 18:30~20:20

と ころ：土佐堀YMCA

出席者：石津、鍛冶田、藤原、松浦、山田、三浦君

12月第1例会(クリスマス例会)

会費は一律4000円とする。

乾杯のワインは藤原氏が用意。食事、個人払いの飲み物等ホテルへの交渉は石津氏が担当。

音楽家・末松よしみつ氏の演奏(30分)、ト・ク(15分)計45分。謝礼はクラブから2万円を予定。担当中村(茂)。

プレゼント交換(1000円程度の物を各自用意する)時間は15分(担当：大村)

クラブ以外の人にも参加を働きかける。

協議事項及び連絡事項

(1) 役員選出案について

会長 大村 副会長 奥田、三浦 書記 石津 会計 中村(隆) 中村メネット 会計補佐 藤原 プリテン 中村(茂) EMC 坂本 交流 藤原 Yサ 松浦 ファン ド 山田 CS・TOF 畠中、新保 ドライバ- 谷川、福永 チャリティ-ラン 畠中担当

*中西部主査は坂本氏が希望の主査を決める

(2) 東京セントラルとの DBC (一泊旅行) 3月又は4月。三浦君が東京セントラルの田村会長に先方の意向を確認する

(3) その他

とさぼりクリスマス 12/7(金)18:30~20:30、大阪YMCAで。メ-ルで出欠を確認(石津)。

12月第2例会は繰り上げて行う。12/12(水)大YMCA

1月第1例会(1/16(水))初笑い例会、落語家 桂しん吉氏(桂吉朝一門、桂吉弥氏の弟弟子)。謝礼は2万円を予定している。合同例会も考える。

ミツマ-支援 今年度支援金5万円の支払時期、支払先についてYMCAに指示を願う。(鍛冶田連絡主事)

今後の行事

中西部評議会 08年2月16日(土) 6月21日(土)

08年1月14日(月・祝日)中西部合同新年会 12:00~ 大阪南YMCA。出席者は連絡済(三浦)メン・メネットあわせて15名が出席。

08年6月14日(土)~15日(日)西日本区大会

(奈良100年会館他)

(三浦直之)

11月BFニュース

切手提供者

山田、松浦、福永、隅田君 計95g
現金1,000円

今月の殊勲賞：山田君 50g

現金1,000円

11月23日(祝・金) 早朝から12時すぎまで、万博公園内で、YMCAとワイズの共催で行われました。

69チームが参加。いろんな人たちが、真剣勝負もあり、仮装ランニングもありと、にぎやかに、そして和気藹々としたなごやかな風景でした。総額367万円の支援金が寄せられ、心身に障がいのある子どもたちのためのプログラムに使われます。

わがクラブからは、1チーム出場し(オープン制)、選手に、山田、松浦、新保、畠中メン(出場順に)、関西テレビ青少年育成事業団から助っ人 男女2人。なかでも山田メンは、出場者中 最年長で、2kmを楽々走り、日頃の鍛練の成果を遺憾なく発揮しました。

運営ボランティアとして、三浦、石津、松浦メンの3人が参加しました。また、藤原メンが応援に駆けつけてくれました。穏やかな小春日和、園内の紅葉も愛でながらの、有意義な一日でした。
(松浦 孝次)

只今、
爆走中！！



大阪YMCA
チャリティラン
(万博記念公園)

「いのちの電話」バザーに参加

10月20日(土) 関西いのちの電話のバザーが開催されました。折からの晴天に恵まれて、多くの来場者でにぎわいました。わがセンテニアルクラブは「古本市」を担当して、寄贈された漫画から文学まで何でもありの中古本の販売に当たりました。当日は藤原、福永、石津、山田の4名が自発的に参加しました。
(山田孝彦)



クリスマスつどい

今年は礼拝も祝会も2Fホールで行います。一緒にクリスマスをお祝いしましょう。

テーマ 「ありがとう」

日時 12月7日(金)18:30~20:30

内容 礼拝(岡村恒牧師(大阪教会)のお話と祝会
早天祈禱会

日時 12月21日(金)7:30~8:30

奨励 後藤正敏牧師(日本キリスト教団豊中教会)

ボランティア養成講座

発達障害の子ども達のサポートクラスボランティアを募集します。

日時 12月22日(土)10:00~16:30

内容 LDおよびその周辺の子どもの基本理解
サポートクラスでの援助の仕方
ボランティアとは

*会場はいずれも大阪YMCA会館にて

(鍛治田千文)

Club Activities (December, 2007)

On November 21, the club's November meeting was held at the Rihga Grand Hotel in Osaka with a total of 17 Y's men and Y's menettes in attendance.

With its emphasis on "Public Relations and Wellness" this month, Y's man SAM FUJIWARA briefed the purposes and meanings of these programs.

The highlight of the November meeting was a speech made by Y's man HAJIME OHMURA, who joined our club in December, 2006. Since he is a fairly new member, this was a very good opportunity for the club members and Y's menettes to know all about him. He spoke about his personal history in detail and we learnt that he is a precious few in manufacturing the painted ceramic plate in Kutani-yaki style in Japan.

After the speech, Y's man TETSURO SAKAMOTO, chairperson of the EMC committee of our club, asked all club members to pay more attention to the recruiting of the new member.

Yen 28,300 was collected from the members at the meeting as the contribution to the club fund.

大阪センテニアルクラブホームページ

<http://m-ishizu.sakura.ne.jp/ys/>



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

会員からのメッセージ

とさぼりカーニバルも皆様のお陰で無事に終わりました。有難うございました。(石津 雅人)

大村さんの豊かな人生の一端を聞かせていただきました。皆さんの話も聞きたいものです。(鍛治田 千文)

大村さんのバラエティに富んだ人生のお話は楽しかったです。55歳で退職し好きな事に打ち込めるなんてうらやましいです。(坂本 千春)

インフルエンザの予防注射を本日しました。今年はインフルエンザが流行しそうです。気を付けてください。(坂本 哲朗)

メタボ対策のブートキャンプはすぐに落ちこぼれたのですが次にジョーバを始めました。餌はいりませんがとてもかさ張ります。しっかり乗りこなしておなかすっきりにと思っています。(隅田 恵子)

大村さんの宅話は昔、私も関学中学部に通いました。矢内先生には別の機会にお目にかかりましたので大変懐かしく聞かせていただきました。有難うございます。(田中 穰二)

長女も有意義に過ごした関学のむかしがしのばれて楽しく聞かせて頂きました。(中村 幸枝)

大村さんの陶額の魅力、以前夏、初級を体験しただけにすばらしさを感じました。(中村 茂高)

7～8月のキャンプ多忙期以来、いつも例会と他の予定が重なり欠席が多くなり今日久しぶりに皆さんの顔を見てなつかしい思いです。これから冬にかけてはキャンプも少なくワイズ活動も頑張れそうです。(畠中 彬)

大村さんの有意義なお話を興味深く楽しく聴くことができ感謝しています。これからもまた聴かせて頂きたいものです。メネット欠席まことに失礼。(福永 嘉彦)

久しぶりのホテルでの例会でしたが、賑やかで楽しいひとときでした。大村さんの宅話、お人柄がしのばれライフワークの九谷色絵陶額についても理解を深めることができました。有難うございました。(藤原 正巳)

大村さんのお話し興味深く聞かせて戴きました。陶板に釉薬をのせて描いてみたいと思いました。(松浦 和子)

大村さんはこれまでの歩みを率直で元気よくお話しになられて、面白く拝聴しました。社会心理学の専攻者が化学の世界で活躍されるとは相当な適応力をおもちと感じ入りました。(松浦 孝次)

大村さんの泥まみれになって楽しんだ中学のキャンプが現在の原型になっていると思いました。貴重な体験だと思います。(三浦 直之)

大村君の「私の履歴書」=そのキャリアの広さと興行きの深さにたびたび感心するばかりです。これだけの知識とタレントを生かしてセンテニアルクラブの新しい活動の行方を定めてくださることを期待しております。

(山田 孝彦)

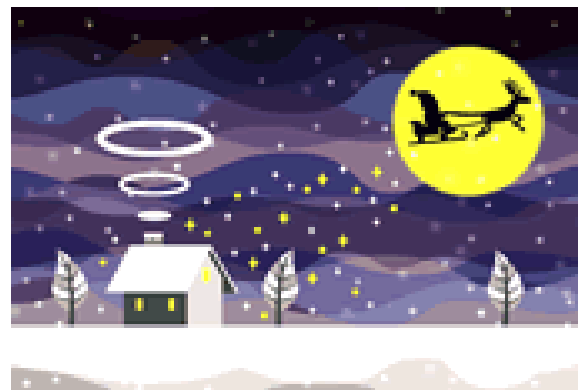
大村さんの九谷焼のお話ありがとうございました。

(山村 利子)

センテニアルクラブの皆様へ

先日黒田さんと面談した際、センテニアルクラブの皆様へ下記メッセージと、ニコニコ献金10,000円をお預かり致しました。黒田さんはその後もお変わりなくお元気で、日野原重明先生主宰の「新老人の会」の京滋地区代表や、老人養護施設の相談員など、幅広く活躍されておられます。

(藤原正巳)



後記

師走のこの時期の私は、年末のチャリティー美術展開催のため、さまざまな画家を訪ねる仕事で追われています。先日も、東京の世田谷、卒寿を迎える芸術院会員のある洋画家を訪ねました。手直しするから少し待ってくれと言われ、その間にと、自伝一冊を手渡されました。

その本は70歳すぎて闘病生活の末、亡くなられた奥さんとの思い出がつづられていました。どちらも画家で、昭和30年代結婚した当時、今の世田谷区祖師谷は電気も水道もない荒野で、そこで二人は土地を借り、木材屋から1万円で家一軒分の木材を買い込んで、2階建ての木造家屋を建てたそうです。水もないのでツルハシとスコップで井戸を10畝も掘ったこと。子どものために幅15畝、深さ1畝のプールを壁面にセメントを塗り固めて作ったことなど、内容は極貧のなか、たくましく生き抜いた二人の記録でした。自分の画家生命を放棄し、不平も言わず夫の作家生活を支えた奥さんに対する愛情に満ちたものでした。脳梗塞で倒れた妻をアトリエで絵を描くかたわら、看病、お風呂の世話など、妻が亡くなるまでの必死の看護は涙ぐましいものでした。絵を待つ1時間はあっとう過ぎました。「ご苦労をされたのですね」という言葉が、絵をぶらさげ出てきた画家についでしまいました。苦労をともした夫婦の絆は深いものだということを実感しました。(中村茂高)